

しち てん はっ き 七 転 八 起

校訓：自主・協同・創造

学校通信 NO. 13
令和4年12月22日

課題を解決する考え方！

1年の中で一番長く多忙だった2学期も今日で終わります。みなさんが主体的に行事に向き合い「自分たちで創り上げる」行事に感動しました。行事といえば、文化祭での団です。ステージで団発表している人も、団で制作している人も、みんな協力的で、楽しみながら熱中している姿に感動しました。11月には、3年生の大阪校外学習や2年生のトライやる・ウィークがあり、コロナ禍の中でも、ケガ人やトラブルもなく、しっかりと活動してくれました。このコロナ禍の状況下でも、「自分にできる精一杯の努力」ができるみなさんですから、見ていて本当に安心です。



今回は、「課題を解決する考え方」の話をしていきます。

自然災害などの不可抗力は別として、「課題」は対人関係から生じることが多くあります。学校内外での人間関係、地域の方々との人間関係、家庭内での人間関係等々です。自分を巡る様々な関係軸の中で私たちは生きているので、そこから生じる「課題」は、次の3つの考え方で、改善できると考えます。

1つ目は、【いままで通りでは、解決できない】人は、課題にぶつかったとき、了見が狭くなり、今までの手段に固執しがちです。しかし、東洋古典の『易経』に「窮すれば通ず」とあるように、他の解決方法にも視点を向けてみましょう。今の方法以外の道はないかと考え直しているうちに、意外に道が開け、なぜ今まで気がつかなかったのだろうと思うことがしばしばあります。

2つ目は、【今すぐには解決できない】課題を解決するタイミングは早いに越したことはありませんが、課題解決のために、いまずぐにやるべきことなのか、時間をかけてじっくりやるべき事なのか、タイミングを考えて行動することが大切です。

しかし、課題が発生したら、解決の糸口が見えなくても、まずは、その日のうちに対応し、解決しようとする意思を示すことが大切です。「急いで事は仕損じる」「急がば回れ」ということわざがありますので、良い事は遅くても構わないのですが、悪い事は、早急に対応していくことが重要です。

3つ目は、【一人では解決できない】解決への道筋を探るとき、第三者の意見を参考にすることが大切です。最後には、自分が決断するのですが、「三人寄れば文殊の知恵」とあるように、思いがけないヒントを得られることがあるものです。

一人で思い悩む必要はありません。いろいろな人の意見に耳を傾け、熟慮を重ねた上で、問題解決への道を突き進むべきだと考えます。「案ずるより産むがやすし」とは、なるほどと思わされる名言ですよ。

目の前のことにしっかりと向き合い「自分ができる精一杯の努力」が成功につながります。そんな素敵な1年になるように、よい新年を迎えてください。

校長 高森 伸彦